

ただいま 工事中。



路地の入り口に並べてみる。本来は立ち入り禁止を表すカラーコーンがここでは内へと引き込むエントランスとして機能する。

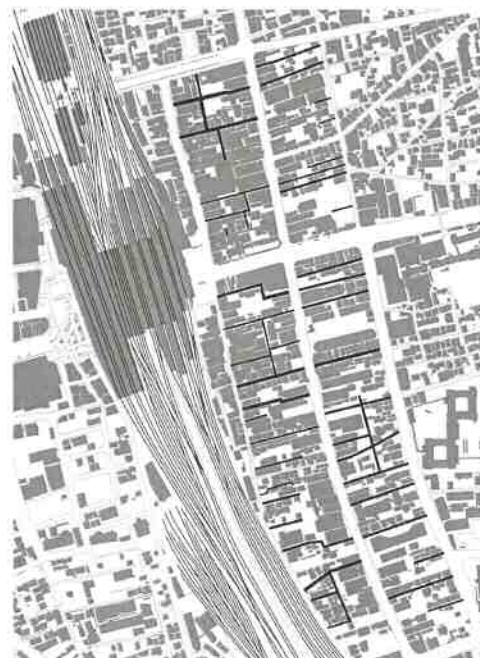


単体だと自立することが難しい逆円錐。複数組み合わせれば大きな家具として機能。普段の飲み屋にちょっとした新たな風景をつくり出す。

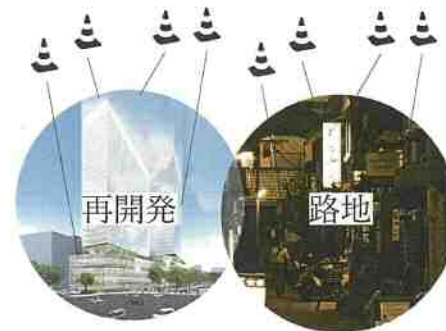


壊れたカラーコーンも再利用。照明として隙間から光が漏れ出す。

再開発の進む大宮。我々は生まれ変わろうともがく大宮の姿を否定しない。ただし、昔の大宮らしさを残すことも我々が本プロジェクトで達成したい目標であった。そこでキーワードとして挙げたのが「路地」と「カラーコーン」。昔の大宮らしさがいまだに見え隠れする路地に対して再開発の象徴であるカラーコーン。これらが一空間の中で共存することで新旧の大宮らしさを体験し、両者を人々に柔らかく認識してもらおうことを目指す。



大宮にはいまだ、路地が多く存在し、再開発が進む街の裏に「大宮らしさ」がひっそりと垣間見えている。



大宮の街を歩いてみてほしい。赤色に染まった小さなオブジェクトがいたるところに散りばめられているのがよくわかるだろう。面白いのはただただぼつんとさみしく佇むカラーコーンのすがた。それをひっくり返したり、組み合わせたりすれば機能が付加される。再開発の景色がカラーコーンによって柔らかく路地に入り込む。本計画は昔と未来をどちらも尊重した新たな「大宮」を提案する。

